



【短信】

「2020年総合大会へのお誘い」 (大会運営委員長)

野毛 悟 (沼津工業高等専門学校)



2020年総合大会は、学会に設置されている5つのソサイエティ(基礎・境界ソサイエティ、NOLTAソサイエティ、通信ソサイエティ、エレクトロニクスソサイエティ、情報・システムソサイエティ)が一堂に会して開催する全国大会です。今春の総合大会は、2020年3月17日(火)～20日(金)の4日間、広島大学、東広島キャンパス(東広島)において開催されます。大会の開催準備、運営を担当される関係者の皆様に感謝申し上げますとともに、多くの方々へ大会へのご講演、ご聴講をいただきますようお願い申し上げます。

エレクトロニクスソサイエティでは、各専門委員会からの一般講演(C-1 電磁界理論、C-2 マイクロ波、C-3/4 光エレクトロニクス/レーザ・量子エレクトロニクス、C-5 機構デバイス、C-6 電子部品・材料、C-7 磁気記録・情報ストレージ、C-8 超伝導エレクトロニクス、C-9 電子ディスプレイ、C-10 電子デバイス、C-11 シリコン材料・デバイス、C-12 集積回路、C-13 有機エレクトロニクス、C-14 マイクロ波・ミリ波フォトニクス、C-15 エレクトロニクスシミュレーション)に加えて、ご提案いただいた下記のセッションが企画されております。

企画されているセッションの概要をご紹介します。エレクトロニクスソサイエティの企画として、「オープン・イノベーションに対応した知財戦略～大学と企業による共創の視点から～」が開かれます。オープン・イノベーションの必要性から、企業も大学との共同研究が急増しています。企業と大学の連携には、相互理解に基づき、協調できる知財戦略が必要ですが、その考え方や方策を、具体的な事例に基づき、特に大学の視点から紹介します。

各研究専門委員会からの企画には、CT-1 超伝導エレクトロニクスを支えるデバイス作製技術、CI-1 Thailand-Japan Microwave (TJMW) 2019 優秀発表賞特別セッション、CI-2 光エレクトロニクス研究会(OPE) 学生優秀研究賞表彰式、CI-3 受光素子の最前線、CI-4 ナノフォトニクスの新展開、CI-5 5Gの次まで見据えた超高速超広帯域無線通信における電子デバイス(仮題)、CI-6 無線技術とそのアプリケーションが変える未来、CI-7 プリンテッド・フレキシブルエレクトロニクスの新展開、

CI-8 光集積回路とは何か? ～これまでの進展と将来展望～など、多岐にわたり興味深い企画が多いです。また、3月は研究のまとめとして、研究成果を報告するにも絶好の機会です。若い研究者らにとっても有意義な企画が目白押しです。今大会にご参加いただく皆様のそれぞれの分野や立場に関係した、Society 5.0の実現にとともに今後急速に進歩するICT分野において新たな価値を創出するためのヒントも得られるのではないのでしょうか。大きな社会の変化を支える情報通信技術のあり方、さらには企業の業務効率化や新たな市場ニーズの開拓、社会的課題への対応といった様々なイノベーションの実現に向けてこの大会で大いに議論されることでしょうか。ぜひとも総合大会にご参加いただき、議論を深めてまいりましょう。

今回の開催地東広島の西条は灘(兵庫県)・伏見(京都府)とともに「日本三大銘醸地」としても有名です。この機会にぜひ広島にお越しいただき、銘酒を酌み交わしながら、「電子情報通信と科学の共創する未来」について大いに夢を語り、未来図を描きたいと思っております。

総合大会への講演登録、原稿提出の締め切りは、令和2年1月8日(水)17:00(厳守)となっています。大会へのご参加(ご講演、ご聴講)や大会プログラムなどの情報は下記URLをご覧ください。検索機能付プログラムは2月公開予定です。

<https://www.ieice-taikai.jp/2020general/jpn/index.html>

投稿されたPDFはWebにて公開されます。(公開は大会論文集発行日からとなります)なお、公開するPDFを閲覧する場合は論文ダウンロード権が必要となりますので、講演発表者以外の方で閲覧を希望される場合は、聴講参加登録をお願いします。総合大会に参加される皆様にとって有意義な4日間となりますようお願いしております。皆様のご参加を心よりお待ちしております。

著者略歴:

1989年長岡技術科学大学大学院修士課程修了、同年、神奈川工科大学助手。2007年沼津高専電気電子工学科、2014年教授。博士(工学)。CPM委員長、回路デバイス境界技術領域委員長等を歴任。電子情報通信学会・応用物理学会・電気学会・IEEE会員。